

第3章 記述方法(2)

Web応用

第5回 Webページのデザインの制御

第3章

記述方法(2)

第3章 学習目標

注意を要するCSSプロパティについて学びましょう。

注意を要するCSSプロパティ

皆さんはCSSをJavaScriptでコントロールできるようになりました。
しかし、ひとつだけ注意を要するものがあります。プロパティに「-（ハイフン）」が含まれている場合です。
それでは一緒に演習しましょう。

1. ハイフンのないプロパティで試す

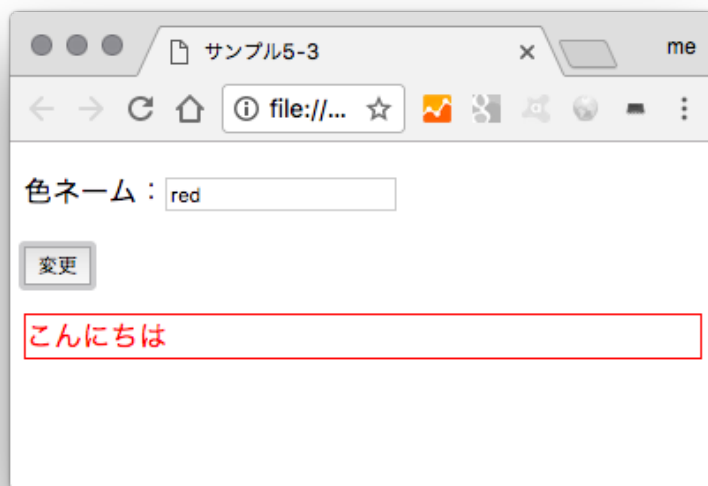
ファイル名は「sample5-3.html」。文字の色をボタンを押すと変更させてみましょう。

■ ソースコード

```

1 <!DOCTYPE html>
2 <html>
3   <head>
4     <meta charset="utf-8">
5     <title>サンプル5-3</title>
6     <style>
7       /*CSSのエリア*/
8       #box1{border:1px solid red;}
9     </style>
10  </head>
11  <body>
12    <!-- コンテンツのエリア -->
13    <p>色ネーム : <input type="text" id="input1"></p>
14    <p><button onclick="change1();">変更</button></p>
15    <p id="box1">こんにちは !</p>
16    <script>
17      //JavaScriptのエリア
18      function change1(){
19        var input1 = document.getElementById("input1");
20        var box1 = document.getElementById("box1");
21        box1.style.color = input1.value;
22      }
23    </script>
24  </body>
25 </html>

```



2. ハイフンのあるプロパティで試す

では、ハイフンのあるプロパティとして背景を変更してみましょう。次のコードに書き換えてください。

■ 誤ったソースコード

```

21 box1.style.background-color = input1.value;

```

これは動作しません。

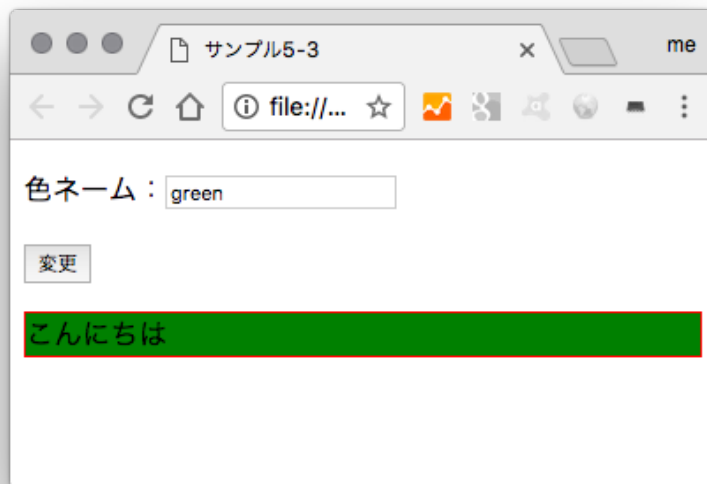
「-」がCSSでは問題ないのですが、JavaScriptではマイナスの演算子だからです。

そこでこのような場合は「**「-」を除いて次の文字を大文字に書き換える**」というルールがあります。

■ 正しいソースコード

```
21 box1.style.backgroundColor = input1.value;
```

これで皆さんが知っているCSSは全てJavaScriptでコントロールできるようになりました。



応用

ハイフンのついたCSSを試してみましょう。(「-」を除いて、次の単語の先頭を大文字にする)
以下にサンプルをいくつか示します。

なお、枠線のプロパティもあるので、「border:1px solid gray;」も記述してください

background-color

- 背景色のプロパティです。値は色コード(例: "#ff0000")またはカラーネーム(例: "red")です。

border-color

- 枠線の色のプロパティです。値は色コード(例: "#ff0000")またはカラーネーム(例: "red")です。

border-width

- 枠線の太さのプロパティです。値は数値(例: "20px")です。

font-size

- 文字の大きさのプロパティです。値は数値("20px")です。

text-align

- 文字の左右ぞろえのプロパティです。値は"left"、"center"、"right" です。

border-radius

- 枠線の角を丸くします。値は数値("15px")またはパーセント("50%")です。

練習問題1

問題

【クイズ】 択一選択（即解答表示）

JavaScriptで文字の大きさを変えるのに使用するコードでもっとも適切なものはどれか。（取得したオブジェクトは「box1」とする。）

- ☐ box1.style.font-size="30px";
- ☐ box1.style.fontSize=30px;
- ☐ box1.style.fontSize="30px";

練習問題1の解説

正解は、**box1.style.fontSize="30px";** です。

- ハイフンを含んだCSSのプロパティは、「-(ハイフン)」を削除して、次の単語の最初の文字を大文字にします。
- 値は「"(ダブルクォーテーション)"」で囲みます。単位がある場合は単位の記述が必要です。

これで私たちはCSSを自由にJavaScriptでコントロールできるようになりました。

第3章 まとめ

ハイフンを含んだCSSプロパティは、ハイフンを除いて次の単語の最初を大文字にしなければならないということを学びました。

第3章 終わり

第3章

記述方法(2)

おわり